

ウルバンバ郡（ペルー）

問合 海外戦略課 ☎ 35-3346



クスコ県ウルバンバ郡は、主要なインカ帝国の遺跡があることで知られており、中でも有名な「マチュピチュ遺跡」は、標高2,430メートルにあるインカ帝国時代の遺跡で、山裾からはその存在は確認できないため、「空中都市」と呼ばれています。1983年に自然・文化を兼ね備えた複合遺産としてユネスコの世界遺産に登録されました。遺跡の他にもクスコからマチュピチュへのトレッキングのコース、古くから利用されている温泉、マラスの段々畑状の塩田風景など、素晴らしい観光資源に恵まれており、世界中から多くの観光客が訪れています。また、農業に適した土壌を有していることから、インカ時代にはトウモロコシ栽培が始められ、現在も盛んに行われています。

●これまでの取り組み

①高山市長 ウルバンバ郡訪問

平成23年10月に高山市長がウルバンバ郡を訪問し、市民の大歓迎を受ける中、郡長とともに、芸術や文化、観光、農業、経済などの分野における相互交流を推進し、住民間の交流を支援するとともに、友好都市提携に必要な手続きを進める旨の覚書への調印を行いました。



②ウルバンバ郡長 高山市来訪

平成24年10月にはベニシオ・リオス・オクサ郡長が、また、友好都市提携締結後の平成27年5月にはウンベルト・ウアマン・アウッカプマ郡長が来高し、市内を視察されるとともに高山市役所内の緑地帯に高山市の木である「イチイ」の記念植樹をしました。



記念植樹

●友好都市提携の経緯

<平成25(2013)年8月25日友好都市提携>

平成23年4月に、ペルー大使より高山市とウル

バンバ郡との交流について提案されたことを受け、交流が始まりました。ウルバンバ郡には、世界遺産「マチュ



ピチュの歴史保護区]をはじめとする主要なインカ帝国の遺跡が残されており、トウモロコシをはじめ農作物の生産も盛んな地域です。高山市にとって観光や農業など幅広い分野でウルバンバ郡と交流することは市の発展に寄与し、世界平和への貢献にもつながるため、友好都市提携を締結しました。締結式は高山市長がウルバンバ郡を訪問し、世界遺産であるマチュピチュにて観光客に見守られながら行われました。

③自治体職員協力交流事業

地方公共団体のノウハウや技術等の習得と、国際化施策等への協力を通じた地域の国際化の推進を目的として、平成27年よりウルバンバ郡から協力交流研修員を招へいしています。現在までに4人をウルバンバ郡内の関係機関より受入れ、活躍していただいています。



平成30年度協力交流員(左がウルバンバ郡出身の研修員)

【これからの展望】

高山市とウルバンバ郡が友好都市提携を締結してから6年目を迎えています。今後は親善友好をより強化し、真に意義のある民間交流を促進していきます。